



全国翻译专业资格(水平)考试指定教材

# 日语笔译综合能力

总主编 谭晶华  
主 编 李均洋  
副主编 邱 岭  
张立新

3 级

★全国实行 ★最具权威 ★统一认证

## 国家职业资格证书

 外文出版社  
FOREIGN LANGUAGES PRESS

图字05-2011-013 日语 (CIP)

日语笔译综合能力 (水平) 考试指定教材 (全国)

# 全国翻译专业资格 (水平) 考试指定教材

## 日语笔译综合能力 (三级)

总主编 谭晶华  
主 编 李均洋  
副主编 邱 岭  
张立新

主 编 李均洋

副主编 吴 昊

主 编 李均洋

副主编 邱 岭

张立新

©2011 外文出版社

外文出版社

北京市西城区百万庄大街24号

网 址 <http://www.flp.com.cn>

电 话 (010) 68

(010) 68

电子邮箱 [info@flp.com.cn](mailto:info@flp.com.cn)

印 刷 北京中印

经 销 新华书店

开 本 16开

印 张 20

印 数 8001-10

字 数 365千字

定 价 38.00元

2011年4

ISBN 978-7-119

48.00元

 外文出版社  
FOREIGN LANGUAGES PRESS

版权所有 侵权必究

## 图书在版编目 (CIP) 数据

日语笔译综合能力. 三级/李均洋主编. —北京: 外文出版社, 2005 (2011 重印)

(全国翻译专业资格(水平)考试指定教材)

ISBN 978-7-119-03996-1

I. 日… II. 李… III. 日语-翻译-资格考核-教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 030117 号

全国翻译专业资格(水平)考试指定教材

日语笔译综合能力(三级)

主 编 李均洋

责任编辑 于 瑛

封面设计 吴 涛

印刷编辑 张国祥

李晶 总主编

张世平 主 编

刘 阳 副主编

潘立波

©2011 外文出版社

出版发行 外文出版社

地 址 北京市西郊区百万庄大街 24 号

邮政编码 100037

网 址 <http://www.flp.com.cn>

电 话 (010) 68990283/68995875 (编辑部)

68320579/68996067 (总编室)

(010) 68995844/68995852 (发行部)

68995852/68996188 (邮购部)

电子信箱 [info@flp.com.cn](mailto:info@flp.com.cn)/[sales@flp.com.cn](mailto:sales@flp.com.cn)

印 刷 北京中印联印务有限公司

经 销 新华书店/外文书店

开 本 16 开

印 张 20

印 数 8001—10000 册

字 数 365 千字

装 别 平

版 次 2011 年 4 月第 1 版第 4 次印刷

书 号 ISBN 978-7-119-03996-1

定 价 48.00 元

版权所有 侵权必究 有印装问题可随时调换

# 前言

## 一、编写目的

本书是为“国家人力资源和社会保障部全国翻译专业资格(水平)考试——日语三级笔译综合能力考试”编写的指定教材,同时也适宜于大学日语专业本科生、研究生和具有同等学力的其他各类专业的大学生、研究生、日语翻译工作者的阅读教材。

翻译是一门实践性很强的学问,它要求翻译者有较宽的知识面,有双语读解及双语表达能力。为此,阅读理解就成为翻译训练的最基本手段。本书就是围绕翻译的基本功训练而设计体例及练习点的。

## 二、体例及特点

本书共有8个单元、15课、39篇文章,题材多材,内容涵盖政治、文体、科技、教育、地理、环境、国际问题、国际商贸、语言、文学、艺术、健康、养生、旅游、体育、计算机与互联网等。

题材的“小百科”特点在词汇量上也显现了出来。本书的词汇新、普及面广、尤其是在“词汇”部分列出并加以解释的词汇,是以《全国翻译专业资格(水平)考试日语三级翻译口笔译考试大纲》(修订版)的词汇为基准,充实增加的新词汇。

本书的“语法”解释,也是侧重于从翻译的角度,从文章的前后文脉、语义、语用方面解释语法难点,力争使学习者有举一反三之所获。

本书的“练习”部分,更是突出翻译考试的特色,即根据《全国翻译专业资格(水平)考试日语三级翻译口笔译考试大纲》(修订版)的要求,以及“大纲”设置的笔译考试模块和样题而设计编写的,具有让读者掌握文章难点,把握考点的示范测试作用,同时也让读者以此去揣摩读解文章的方法和技巧,从整体上而非肢解式地读解文章,提高自己的日语综合理解水平。

为了方便学习者,本书还专设有“句型汇总”,宛如一册句型辞典一样,可以很方便地查阅、理解句型。有心的学习者如果能把这些句型谙熟于心,那将在日语读解上产生一个飞跃。

## 三、符号

### (1) 例文:

現在の世界の一つの特色としまして<sup>[1]</sup>は、約115人に1人<sup>[2]</sup>という多数の人たちが……

文中的“としまして<sup>[1]</sup>”,“[1]”是语法解释的序号,“——”的单下划线是语法点的标志。

### (2) 例文:

これ<sup>(1)</sup>はとても期待できない……

文中的これ<sup>(1)</sup>,是练习部分“Ⅲ読解”的问题点,用圆括号“(1)”和“——”双下划线,以区别于语法解释的方括号“[1]”和“——”单下划线。

#### 四、编写人员及分工

本书的主编为国家人力资源和社会保障部全国翻译专业资格（水平）考试日语专家委员会副主任委员、首都师范大学外语学院日语系李均洋教授（博导），副主编为福建师范大学外语学院日语系邱岭教授和首都师范大学外语学院日语系张立新副教授。

具体分工是：邱岭负责第一、二单元的编写，参加者有薛曦、饶雪梅、沈日中、林陈平。李均洋负责第三、四、五单元的编写，参加者有闫金钟、李筱箐、陈颖、刘宇。

张立新负责第六、七、八单元的编写。

全书的统稿由李均洋担当，陈颖与刘宇参与词汇的筛选排列工作，陈颖、陈菁晶和刘莉参与句型的筛选排列工作，李筱箐参与全书格式的统一梳理，陈菁晶、鲍东梅、魏雪、肖娜、沈娟华、伏学燕等参与词汇语法及原文的校正。

最后，衷心地希冀大方之家和各位同行以及关心“全国翻译专业资格（水平）考试”的同志们，不吝赐教。

编写者一同

# 目 录

第一单元 政治与文化	1
第一课	
（一）緒方貞子——難民つくらぬ世界へ	2
（二）信長・秀吉・家康——時代を見据える	7
（三）家父長制度の解体	14
（四）憲法と基本的人権	18
（五）福澤諭吉——文明は人を高尚にする	22
第二课	
（一）陰影の美	30
（二）多言語・多文化の平和共存	37
（三）松下幸之助——素直な心	42
（四）罪に対する態度	46
（五）森英恵——ファッションから日本人を考える	51
（六）近代家族を支える装置	55
第二单元 科技与教育	61
第三课	
（一）向井千秋——宇宙医学に『天女の実験』	62
（二）古代における鉄の発見と使用	67
（三）湯川秀樹——目に見えないもの	74
（四）井深大——創造的技術力を備えた経営者	78
（五）情報化社会と「私」	83
（六）生物がいるらしい火星	87
（七）栄養と水産	92
第四课	
教育に忍びよる五つの危険	97

第三单元 地理与环境 .....	105
第五课	
(一) 地球を救え .....	106
(二) 文明と地球の未来 .....	111
第四单元 国际问题与国际商贸 .....	125
第六课	
(一) 大量破壊兵器——なかったからには .....	126
(二) 《天声人語》 .....	131
(三) イラクの自衛隊——3月までに完全撤収を .....	134
(四) 大量破壊兵器も通常兵器も、人を苦しめて殺す .....	139
第七课	
(一) 中国は世界経済に地殻変動を起こすのか .....	150
(二) 「持続可能性」の矛盾を超えて .....	159
第五单元 语言文学与艺术 .....	165
第八课	
(一) 日本語の対話性 .....	166
(二) 手 .....	177
第九课	
日本の演劇 .....	188
第六单元 健康与养生 .....	217
第十课	
(一) 肥満を招く三つの食べ方 .....	218
(二) 暮らしWORLD: 「生活環境病」その実態と対策 .....	
——周東寛医師に聞く .....	226
第十一课	
脳は大食漢。砂糖は脳にすばやくエネルギーを送ります .....	237

<b>第七单元 旅游与体育</b> .....	241
<b>第十二课</b>	
(一) 文化結ぶ「十字」の要衝(上五島=長崎) .....	242
(二) 礼儀の物差し一日米比較 .....	249
<b>第十三课</b>	
心とからだのバランス .....	256
<b>第八单元 计算机与互联网</b> .....	261
<b>第十四课</b>	
(一) コンピューター: その応用 .....	262
(二) コンピューターの声 .....	269
<b>第十五课</b>	
インターネット .....	276
<b>句型汇总</b> .....	283
<b>参考文献</b> .....	305
<b>全国翻译专业资格(水平)考试问答</b> .....	306

第一課

へ界世のさ>て異難——千貞子緒 (一)

# 第一單元 政治与文化

## 第一課

- (一) 緒方貞子——難民つくらぬ世界へ
- (二) 信長・秀吉・家康——時代を見据える
- (三) 家父長制度の解体
- (四) 憲法と基本的人権
- (五) 福澤諭吉——文明は人を高尚にする

## 第二課

- (一) 陰影の美
- (二) 多言語・多文化の平和共存
- (三) 松下幸之助——素直な心
- (四) 罪に対する態度
- (五) 森英恵——ファッションから日本人を考える
- (六) 近代家族を支える装置

## 第一课

### （一）緒方貞子——難民つくらぬ世界へ

21世紀に向かって、難民をつくらぬ世界を構築してゆくためには、難民発生の本原因というものを特定して、それに効果的に対応してゆく必要があります。難民の数は20年前には250万人だったのが、東西冷戦終結時の1990年は約1500万人になり、1995年5月現在、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の管轄下にある難民は約2300万人に上っています。現在の世界の一つの特色としまして<sup>[1]</sup>は、約115人に1人<sup>[2]</sup>という多数の人たちが、不安、危険、不安定のなかで、自分の住んでいる所から追われ、動いているという状況があるわけです。これを21世紀に向かって、どういうふうに解消してゆくのが、いま世界的な課題として広く検討されている問題なのです。

難民問題の解決は難しいのですが、解決の戦略としては3つ考えられます。それは、緊急事態の対応強化、自主帰還を促す環境の整備、そして予防です。以下では、これらについて、少し具体的にお話したいと思います。

まず、緊急事態の対応強化をどうやっていくか。私が難民高等弁務官になりました（1991年1月）のちに<sup>[3]</sup>、クルド難民、旧ユーゴ難民、ルワンダ・ブルンジ難民が発生しました。その経験から、何とかして緊急対応能力を高めるために、ヒト・モノ・カネを充実させなければならぬと考えました。まず、ヒトですが、緊急事態に対応するために5人の専門官を置き、各自が5人ずつのチームを編成するようにしました。次に、モノについては、彼らが出かけて行くときのために、緊急用具一式（コンピューター、紙、無線機、無線機などを組み込んだ四輪駆動の自動車）を準備しておきます。カネについては、2500万ドルを緊急援助用の資金として準備しています。これだけではとても足りないのです、いくつかの国やNGO、国としてはスウェーデン、アメリカの保健省など、デンマーク、ノルウェー、スウェーデンの民間団体と緊急支援の取り決めをして、事が起こったときに、100名ぐらいを72時間以内に出していただく、それもある程度訓練をした人たちを出していただくという取り決めをしたわけです。

第2の、帰還を促す環境の整備についてですが、平和が成立して帰国出来る条件が整うと、難民は帰っていきます。人はやはり、自分の家へ帰りたいのです。このところ最も成功した帰国のケースとしては、カンボジアへ37万人が、14.5年も難民生活をしたあとで<sup>[4]</sup>帰ったというのがあります。難民の帰国が、その後の、その国の安定に、どういう形で貢献するのか。そして、さらに21世紀へ向けての開発が可能なのだろうかと考えてみますと、まず和平協定、あるいは、政治的な合意が成立すると、難民は帰国のことを考え始める。そうすると私どもも帰国のための支援を始めるわけです。まず、一人一人が帰る交通の手段を考え、帰国にあたっては<sup>[5]</sup>食料を与えたり、帰って家をつくるための資材を集めたりするわけです。カンボジアの場合、ほとんどが農民でしたから、彼らが帰って行って再び農業に従事できる

ような土地を設定して渡そうと思いました。それで、土地の測量をしたり、いろいろ調べたのですが、何とんでも地雷が多い。地雷を除去して、土地を提供するとなると、帰るまでにどのくらいの時間がかかるかわからない。カンボジアでは、新しい国づくりのための選挙の時期が決まっておりましたので、ある期限内に帰さなければいけませんし、国連もあれだけの平和維持軍を出して、長い間とどまっているわけにはいきません<sup>[6]</sup>。それでその時考えたのが、もし土地を提供できなければ、現金を渡して、その現金で生活再建を自分たちで考えてもらってはどうかということで、土地を取るか、現金を取るかという選択肢を難民に提示したのです。そうしたら、驚くほどたくさんの方たちが現金を選ばれて、そのおかげで<sup>[7]</sup>帰国が促進されたということがありました。

最後に、予防についてです。予防というのは、すべての国で、よい政権ができて、民主的な手続きで政治が行われ、経済が安定して、人権が尊重されるという条件が整えば、紛争も起こりませんし、難民も出てこないのだろうと思うのです。ただ、そういうことを期待するのは、まるで世界中を天国にかえるというのに近いほどのことになりますから、これ<sup>[8]</sup>はとても期待できない。そうなる、いま持っている手段で、どのような予防が可能なのかということになります<sup>[8]</sup>。私の答えは一つです。それは紛争が起こりそうな国に、国際的なプレゼンスというものを早くから確保することだと思います。国際的に、その地域に、ある種のプレゼンスをもって、ただ状況を見るだけではなくて、いろいろな形で「ソフトな介入」を試みる以外はないと思うのです。いま予防をいちばん中心に考えているのは、旧ソ連諸国です。旧ソ連諸国は、人間の移動が不規則に行われていますし、また、在外ロシア人が各共和国で少数民族化して、しかも、その保護が十分ではないということもあり、危険をはらんだ地域になっています。そこで、私どもは連絡事務所網というものを設け、危険な状況があったとき、あるいは、こういう法的な問題に対しては、こういう法整備をもって対応したらどうかというような、法的な支援ということを心がけてきております。

21世紀へ向けての難民問題は、世界の人道問題であり、さらに世界の政治・安全保障につながる大問題です。こうした人道問題を取っ掛かりにして、世界的な協力態勢というものをこれから真に打ち立てていかなければならない、それには地球にすむ人全員の協力が必要である、これが日夜、世界的な難民問題に対応している私の心からの叫びです。

(倉八順子『日本語の表現技術』より)

## 一、词汇

緒方貞子(おがたさだこ)【固有名詞】緒方貞子(1927~), 东京出生, 加利福尼亚大学博士,

原联合国难民署高级专员。

難民(なんみん)【名】难民

構築する(こうちくする)【動】构筑, 建筑

東西冷戦(とうざいれいせん)【固有名詞】东西方冷战

終結(しゅうけつ)【名/サ変】终结, 结束, 終了

- 国連難民高等弁務官（こくれんなんみんこうとうべんむかん）【固有名詞】联合国难民署高级专员
- 管轄（かんかつ）【名/サ変】管辖范围
- 解消する（かいしょうする）【名/サ変】取消，消失，解散，解决
- 戦略（せんりゃく）【名】战略
- 緊急事態（きんきゅうじたい）【名】紧急情况；紧急事态，国家非常事态（在日本特指由内阁总理大臣发出通告的大规模灾害或骚乱）
- 自主帰還（じしゅきかん）【名/サ変】自主返回
- クルド【固有名詞】库尔德，主要居住在土耳其、伊朗、伊拉克的游牧民族。
- 旧ユーゴ【固有名詞】前南斯拉夫联邦的简称
- ルワンダ・ブルンジ【固有名詞】卢旺达（非洲东部内陆国家）・布隆迪（非洲中部内陆国家）
- 専門官（せんもんかん）【名】专职人员
- コンピューター【名】电子计算机，电脑
- 無線機（むせんき）【名】无线通讯机器
- 四輪駆動（よりんくどう）【名】有四轮并带驱动力
- 保健省（ほけんしょう）【名】卫生部
- NGO【名】非政府组织，民间公益团体
- スウェーデン【固有名詞】瑞典
- アメリカ【固有名詞】美国
- デンマーク【固有名詞】丹麦
- ノルウェー【固有名詞】挪威
- 取り決め（とりきめ）【名】決定，規定；約定，商定
- ケース【名】事例，事件，情况
- カンボジア【固有名詞】柬埔寨
- 和平（わへい）【名】和平
- 資材（しざい）【名】资材，材料
- 設定する（せっている）【動】設定，制定，设立
- 地雷（じらい）【名】地雷
- 除去する（じょきよする）【動】除去，去掉，消除
- 平和維持軍（へいわいじぐん）【固有名詞】维和部队
- 再建（さいけん）【名/サ変】重建，再建
- 選択肢（せんたくし）【名】选项，供选择事项
- 紛争（ふんそう）【名】纠纷，纷争；争执，争吵
- プレゼンス【名】干预
- ソフト【名/形動】柔软，软性
- 旧ソ連諸国（きゅうそれんしよこく）【固有名詞】原苏联各加盟共和国
- はらむ（孕む）【動】怀孕；包含
- 事務所網（じむしょもう）【名】事务所网点

- 支援(しえん)【名/サ変】支援  
 心がける(こころがける)【動】留心, 注意  
 取っ掛かり(とっかかり)【名】线索, 头绪, 端倪  
 態勢(たいせい)【名】状态, 态势, 准备  
 日夜(にちや)【名】日夜, 昼夜

## 二、语法

- [1]～としまして/“作为, 当作”。表示资格、立场、种类、名目及特色等。是“～として”的敬体, 语气较郑重。  
 [2]約115人に1人/“に”表示“平均分配”。意: 每。  
 [3]～のちに/“之后”。相当于“～あとに”。  
 [4]～たあとで/“之后”。用于按时间顺序叙述事情经过时, 前后两事项通常同一主体。  
 [5]～にあたっては/“值此……之际”“在……的时候”, 接名词或动词终止形后。  
 [6]～わけにはいかない/“不能……”“不可……”表示“依经验、常识或一般看法是不行或不能做的”意思, 不表示说话人主观看法。  
 [7]そのおかげで/“多亏……”“幸亏……”“因此”等, 同“その助けで”, 用于怀感激之情陈述原因或理由时。  
 [8]～ことになる/“换言之”“即……”“也就是说”等, 换一种说法或角度指出事情的本质。

## 三、练习

### I 語彙

(一) 下線部の語彙の読み方として正しいものを、次のA～Dの選択肢から一つ選びなさい。

(1) 敵の兵士が地雷に触れて爆死した。

- A、つちらい B、ちらい C、じらい D、でらい

(2) この事件は国際的紛争を起こした。

- A、ふうそ B、ふんそ C、ふうそう D、ふんそう

(3) 彼は日夜働いている。

- A、ひや B、ひよる C、にちや D、にちよる

(二) 下線部のことばと意味の同じようなものを、次のA～Dの選択肢から一つ選びなさい。

(1) 国連もあれだけの平和維持軍を出して、長い間とどまっているわけにはいきません。

A、この習慣はその地方にとどまる。

B、現職にとどまる。

C、当地に一ヶ月とどまる。

D、人の欲はとどまる所を知らない。

- (2) まず、一人一人が帰る交通の手段を考え、帰国にあたっては食料を与えたり、帰って家をつくるための資材を集めたりするわけです。
- A、飛んできたボールが頭にぶつかった。  
 B、企画が期待通りになる。  
 C、辞書にたしかめる。  
 D、お正月に際してお祝いを申し上げます。

## II 文法

[問題]下線部と使い方や意味の最も近いものを、次のA～Dの選択肢から一つ選びなさい。

- (1) 現在の世界の一つの特色としましては、約115人に1人という多数の人たちが、不安、危険、不安定のなかで、自分の住んでいる所から追われ、動いているという状況があるわけです。
- A、戦争が始まって以来、一日として心の休まる日はない。  
 B、留学するとしても、来年以降です。  
 C、誰一人として、私の発言を支持してくれる人はいない。  
 D、趣味として書道を勉強している。
- (2) 約115人に1人という多数の人たちが、不安、危険、不安定のなかで、自分の住んでいる所から追われ、動いているという状況があるわけです。
- A、人口が120万に増えた。  
 B、あの人は忘れっぽい人で、3度に1度は約束を忘れてしまう。  
 C、1000gは1kgに等しい。  
 D、百万円を資本に商売を始めた。
- (3) そうなると、いま持っている手段で、どのような予防が可能なのかということになります。
- A、こんど大阪支社に行くことになりました。  
 B、よく話し合った結果、やはり離婚ということになりました。  
 C、留学するの？じゃ、あの会社には就職しないことになるの？  
 D、この問題は、協議にゆだねられることになった。

## III 読解

(一) 文章(一)を読んで、次の問題に答えなさい。

問1、「これ<sup>(1)</sup>」は何を指しているか。答えはA～Dの選択肢から一つ選びなさい。

- A、世界中を天国にかえるというのに近いほどのことになること。  
 B、紛争も起こらないし、難民も出てこないこと。  
 C、すべての国で、よい政権ができて、民主的な手続きで政治が行われ、経済が安定して、人権が尊重されるということ。  
 D、紛争が起こりそうな国に、国際的なプレゼンスというものを早くから確保すること。

問2、難民問題の解決の戦略にはどのようなことが考えられるか。

問3、現在の手段でどのような予防が可能か。

(二) 読解ヒント

緒方貞子が心から望んでいることは何か。

四、練習解答

I 語彙

(一) (1) C (2) D (3) C

(二) (1) C (2) D

II 文法

(1) D (2) B (3) C

III 読解

(一) 問1 C

問2 難民問題の解決の戦略としては、緊急事態の対応強化と自主帰還を促す環境の整備、そして予防との三つのことが考えられます。

問3 現在の手段で予防可能なのは、紛争が起こりそうな国に、国際的なプレゼンスというものを早くから確保することだ。

(二) 読解ヒント

こうした難民問題を取っ掛かりにして、世界的な協力態勢というものをこれから真に打ち立てていき、地球にすむ人全員が協力をすることである。

(二) 信長・秀吉・家康——時代を見据える

人の人生は、ただ一つのライフサイクルとただ一つの歴史的局面的偶然の出会いであり、人は歴史的局面と生死を共にする。従って、人がよりよく生きる上で<sup>[1]</sup>何よりも大切なのは、歴史的局面を見据え、歴史の流れと共生することであろう。古今東西、歴史上で名を成した英雄たちは、まさに時代を見据えた人たちであった。

多くの植物に群落の性質があるように、人間にも群落の性質がある。日本の中世末期の動乱をはずめ、その後250年に及ぶ<sup>[2]</sup>幕藩体制を築いた織田信長・豊臣秀吉・徳川家康は、いずれも<sup>[3]</sup>、今で言えば、愛知県人であった。もちろん、これは偶然ではない。愛知県内には、東海道が通っている。鎌倉時代以降幕末までの日本史で、東海道の沿道以外の場所から起こって天下をにぎった者はいないことに表れているように、東海道は、源頼朝（鎌倉時代）以来、日本史の権力街道であった。天皇の住む京都と将軍の住む東国（関東）を結んで、天下の権力はつねにこの街道を往復した。愛知県は、東海道の中ほどにあり、京都に近く、天

下を取る上で好条件であった。

信長・秀吉・家康の三人のなかから、最初にぬきんでたのは、信長（1534～82年）である。信長が出なかつたら<sup>[4]</sup>、家康も秀吉も歴史に名を残さなかつたであろう。信長は戦術感覚、政治感覚において天才的であった。信長は桶狭間の戦い（1560年）で奇跡的な勝利を得た後、急速に勢力をのばして行く。延暦寺を焼き討ちにし、一向一揆と戦い、石山（大阪）の本能寺を屈服させたことに示されているように、中世の常識をこともなく破り、中世のあらゆる価値体系をほろぼした信長は、まさに、破壊に生きた人であった。そして、その破壊は創造のためであった。信長は、旧勢力の人間をどんどんつぶすと同時に、新しい価値体系であるキリスト教を保護し、鉄砲を活用した。破壊と創造に生きた信長は、49歳でその家臣、明智光秀によって暗殺されることになる。

秀吉（1536～98年）は、信長が破壊した後の安定と建設が自分の仕事だと考えた。信長が常識を破り、模倣を嫌い創造に生きた天才であったのに対し<sup>[5]</sup>、秀吉は、信長という天才のやり方を学び、そのやり方を模倣すると同時に、その欠点を、政治性によって埋めようとした。例えば、信長は破壊力の強い火攻めを好んだが、秀吉は、人命をあまりそこなわない水攻めを好み、また、外交を重視した。農家に生まれた秀吉が、天下を統一出来たのは、人との関係を保つ『外交の才』と、利害関係に敏感な『商売の才』があつたからであろう。秀吉は、貨幣を鑄造し、市場の制度を整えて行く。それと共に、検地を行い、土地制度に基づく税制を確立する。豪壯闊達で陽性な秀吉は、晩年、誇大妄想に陥つたと言われる。

その後政権を握つた家康（1542～1616年）は、忍耐強い実務家であった。信長が破壊し、秀吉が築いた幕藩体制の基礎を、家康は、忍耐強く、確固たるものにしていった。家康の生涯は、家臣に売られることから始まつた。少年家康は3歳で<sup>[6]</sup>生母と生別した後、6歳からの12年間を囚われの身として過ごした。家康は、まず6歳で今川家に人質として送られた後、織田家に送られ、8歳の時にいったん生家に戻り、その後すぐ、ふたたび、今川家に送られたのである。家康の三河武士団は、後に、団結の強さで武士団の模範とされることになるが、その団結力の強さは、少年時代の悲惨な環境の中で、苦勞を共にしたことによる当然の帰結でもあつたのだろう。それ<sup>(1)</sup>と同時に、天下を取つてからの家康が、徹底的な封建体制をしき、日本人を階級に分けて、その階級から動くことを禁じ、信賴関係のあつた譜代大名を重要視し、信賴関係の薄い外様大名を容赦なくつぶす極端な徳川家中心主義をとつたのは、「家なき子」としてつねに他家のめしを食つてきた悲惨な少年時代の裏返しでもあつたのだろう。家康は、関ヶ原の勝利（1600年）により征夷大將軍となつた後、秀吉の遺児秀頼を滅ぼすのに、15年の歳月を待っている。家康の生涯は、まさに、忍耐の生涯であつた。「人の一生は重き荷を負うて、遠き路を行くが如し、急ぐべからず、不自由を常とおもえば不足なし、心に望みおこらば困窮したる時を思い出すべし<sup>[7]</sup>、堪忍は無事長久の基、いかりは敵と思へ、勝つ事ばかり知りて負けることを知らざれば<sup>[8]</sup>害その身に至る。おのれを責めて人をせめるな、及ばざるは過ぎたるにまさり<sup>[9]</sup>」。家康の遺訓として知られている<sup>[10]</sup>。

（倉八順子『日本語の表現技術』より）

## 一、词汇

織田信長（おだのぶなが）【固有名詞】织田信长（1534~1582），日本战国时代武将，天正元年（1573）流放足利幕府第15代将军义昭，推翻室町幕府，天正四年（1576）修安土城，为完成统一日本大业奠定了基础。后于京都本能寺遭家臣明智光秀兵变自杀。

豊臣秀吉（とよとみひでよし）【固有名詞】丰臣秀吉（1536~1598），日本战国时武将，原姓木下，从织田信长后改姓羽柴。本能寺之变后击败明智光秀统一日本，就任关白、太政大臣，天皇赐姓丰臣。曾两次入侵朝鲜，均告失败，后病逝。

徳川家康（とくがわいえやす）【固有名詞】德川家康（1542~1616），日本战国时武将，江户幕府第一代将军（1603~05），三河城主松平广忠长子，丰臣秀吉手下五大老之一，于1600年的关原之战中大败石田三成后，1603年就任征夷大将军，创立江户幕府，死后谥号“大权现”。

目据える（みすえる）【動】定睛而视，目不转睛地看；看清，看准

ライフサイクル【名】生命周期；人生周期；生活周期；（商品或产业的）发展过程，盛衰周期

歴史的的局面（れきしてききよくめん）【連語】历史局面，历史条件

偶然（ぐうぜん）【名/形動】偶然

共生する（きょうせいする）【サ変】共生，共存；共栖，共同生活

古今東西（ここんとうざい）【連動】古今东西，古今日外

名を成す（なをなす）【動】成名，出名

群落（ぐんらく）【名】群落，许多村落；植物群落，植物中的生物共同体

中世末期（ちゅうせいまつき）【固有名詞】中世末期。在日本指16世纪后半叶

動乱（どうらん）【名】动乱，社会骚动不安

鎮める（しずめる）【動】供奉；平息，平息骚乱，使社会和平；镇痛

幕藩体制（ばくはんたいせい）【固有名詞】幕藩体制，日本江户时代的政治制度，成于17世纪前半叶，幕府统治各藩大名，幕府与各藩大名俱为领主，都直接向农民征收租米年贡。

愛知県（あいちけん）【固有名詞】爱知县

東海道（とうかいどう）【固有名詞】东海道，日本古代驿道

鎌倉時代（かまくらじだい）【固有名詞】镰仓时代（1192~1333），由源赖朝创立的日本第一个武士政权——镰仓幕府统治日本的时代，因幕府设在镰仓而得名。

幕末（ばくまつ）【固有名詞】幕府末期，日本江户时代末期，十九世纪中叶。

沿道（えんどう）【名】沿途，沿路

源頼朝（みなもとのよりともし）【固有名詞】源赖朝（1147~99），镰仓幕府创立者，初被流放，1180年起兵反平氏，于坛浦歼灭平氏后1192年就任征夷大将军，创立镰仓幕府。

権力街道（けんりょくかいどう）【名】权力驿道，通往权力的驿道

東国（とうごく）【名】东国，东方的国家；关东，日本古代对近畿（京都·大阪等）以东地区的称呼。

天下を取る（てんかをとる）【連語】夺取天下，掌握政权